

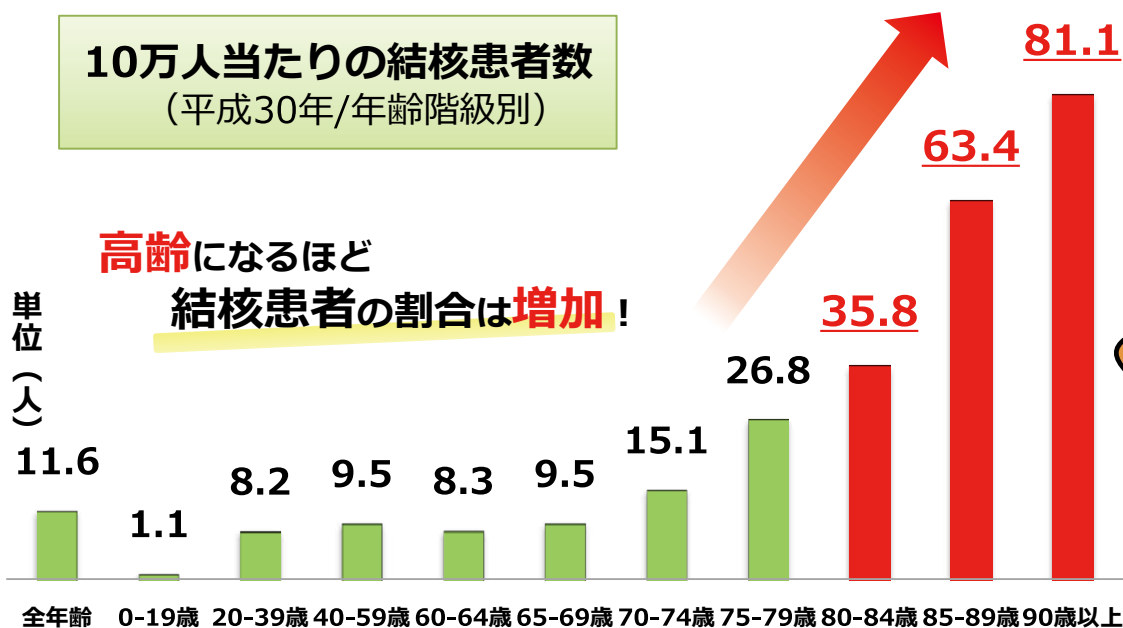
65歳以上の方、

胸部エックス線検査

受けていますか？

高齢者に多い結核

10万人当たりの結核患者数
(平成30年/年齢階級別)



埼玉県では新たに登録される結核患者のうち、

65歳以上の方が約55%（80歳以上の方が約28%）を占めています。

これは、戦後の結核がまん延した時代に感染し、高齢や疾病による免疫力低下に伴い、結核を発症する方が多いことが要因と考えられています。

ご自身と大切な家族を守るために

市町村や職場が行う結核検診を**年1回受診**しましょう

定期的な胸部エックス線検査の受診によって、他人に感染させる状態となる前に発見できます。

結核は**早期に発見**することで、ご自身の重症化を防ぐことができるだけでなく、**大切な家族や友人への感染拡大を防ぐ**ことができます。



「シールぼうや」
(公財) 結核予防会キャラクター

検診はお住まいの市町村で

市町村名 結核検診

検索

彩の国



埼玉県

埼玉県保健医療部保健医療政策課
感染症・新型インフルエンザ対策担当

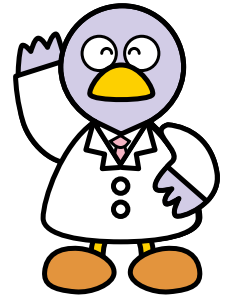
TEL 048-830-3557

FAX 048-830-4808

E-mail a3510-17@pref.saitama.lg.jp

結核の症状

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。
最初は風邪に似た症状で始まります。



- ☐ タンのからむ咳が2週間以上続いている
- ☐ 微熱・身体のだるさが2週間以上続いている

上記にあてはまる場合には**早めに医療機関を受診**しましょう。

また、**結核特有の症状**（2週間以上続く咳やタン）は、**高齢になるほど現れにくく**なります。**食欲不振、体重減少**などが続くときは、いつもの風邪と決めつけてしまわずに、その症状を正確に医師へ伝えましょう。

結核に感染すると？

結核に「感染する＝発病する」ではありません。

結核に感染した方のうち、すぐに発病するのは約1割です。

また、結核を発病しても、**6～9か月間、医師の指示どおり治療することで、治ります**。他人に感染させる恐れのある方は1～2か月程度専門病院に入院が必要となります。



埼玉県マスコット
「さいたまっち」

日本の結核発生状況

平成30年には**全国で15,000人以上が結核を発病**しています。今でも結核は、1日に43人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている重大な感染症です。

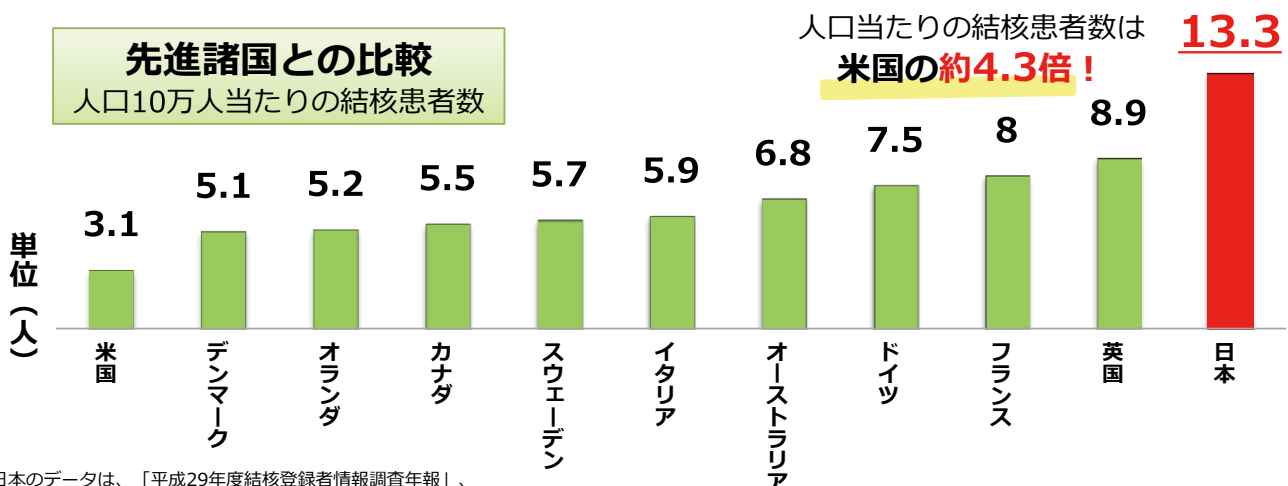
国・埼玉県ともに患者数は減少傾向にありますが、世界的にみると、**先進諸国の中では日本は結核まん延状態**にあると言えます。

かつては「国民病」「亡国病」と恐れられていた結核。

医療が向上した今でも、早期発見・早期治療が大切です。

先進諸国との比較

人口10万人当たりの結核患者数



日本のデータは、「平成29年度結核登録者情報調査年報」、
諸外国のデータは、WHO「Global Tuberculosis Report2018」